

(調査期日) 7月7日

知照地方復員殘務處理部

1. 本例番 甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號… 總べて調査官にて記入し（鉛筆で可）郵入に送付する
3. 乙號… 郵復入にて甲號により三通調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局経由） } 送付する
4. ※欄は郵復入で記入する

②

現況不明者究明調書

(調査期日 所 新 舊)

源	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏	名
	6/1頁	5/警	=	曹		
三	出身府縣	所管復員局	方	向	入籍籍姓・軍属は照違元	
一	新 潟	二 級・機・吳・佐・	千	島		

歸人
氏名
籍地
備考

申	告	事	項
の姓に某憶ある名は疑問あり 20-6-18博愛丸で戦死した等			

中
告
者

家	住	所	職	氏	名
族					
復員者	住	所	前隊等級	氏	名
			上級曹		

調
査
官
所
見

世	話	調
話	調	
所	管	復員局
見	人	

1. 本調査は甲號一、乙號三を調査する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）歸復人に送付する
3. 乙號……歸復人にて甲號により三通調査
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局経由）
4. ※欄は歸復人で記入する

85

(調査期日) 7月19日
(場所) 長崎

60 日五一警 水長

用 斗 府 縣 所 管 復 員 局 方 而 入 籍 帶 號 軍 馬 按 假 造 元

二、檢、吳、佐 (和) 千 島

申
 下
 支那の地引揚の爲()外三名と共に博愛館
 に便乗したか同日夕ノ敵艦の真雷攻撃に依つて死没し
 た
 救助されたる者ノ名アリしか此處に付居りかつたから海に没し
 たものと思ふ
 下記ノ名記事同じ

三 = 市
 一 = 市
 二 = 市

家	住	所	職	柄	氏	名
族						
役員名	住	所	部隊等	職	氏	名
			工一 二	警		

何れも電信員や車に同一配置で勤務して居た為よく知合
て居る一緒に便乗した上に救助されたから見て海没
確実と認む

157

3. 本調査：甲表一、乙表三を調製する
甲表……総べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）郵便入に送付する
乙表……郵便入にて甲表より三編調製
調査世話係……一通
所管職員局……一通
同 世話課……一通（職員局経由） } 送付する
4. ※欄は郵便入で記入する

①

現況不明者究明調書 (調査期日 10月19日)

姓名索引	部	隊	等級・身分	兵	名
65頁	五	衛	所隊一		
出身	府	縣	所管復員局	方	面
			二・横・奥・佐・(○)	千島	志
申告事項	10.6.18. 22.20 頃便乗東船博愛丸 敵機攻撃一 環り環りの際戦死した 同人は6号島 平岡崎衛所勤務者である				
申告者	家族	住	所	職	柄
	復員者	住	所	部隊等級	氏名
				一戦曹	
調査官	世話	本人は衛所勤務者の消息と相違ないものと思はれ 當該調査では詳細な調査困難であるから詳述に於て人 派し調査せられぬ			
見入	新復				

舞鶴地方復員残務處理部

十月二十八日

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總て調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三風調製
調査世話課へ一通
所管復員局へ一通
同 世話課へ一通（復員局経由）
4. ※ 添付は舞復人で記入する

105-10

現況不明者究明調書 (調査期日 9月7日)

三 三 九 號	名	60 51 警一機曹	氏名	[REDACTED]
	出身府縣	所管復員局	方面	入籍番號・軍屬は元
	[REDACTED]	二復・被・型・佐・特		
詳 細 地 方 復 員 後 務 處 理 部	申入	20.6.18. 博愛丸で戦死		
	告第			
	重			
調 査 官	家	住	所	氏名
	族			
	役員者	住	所	部隊等
十 月 四 日	世	戦死の事に要理更富の		
	話			
	課			
四 日	所			
	復			
	入			

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號一…總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號三…舞復人にて甲號一により三通調製
 - 調査世話課へ一通
 - 所管復員局へ一通
 - 同世話課へ一通（復員局經由）
 } 送付する
4. ※欄は舞復人で記入する

117

現況不明者究明調書 (調査期日 7月 3日 場所 長岡)

※ 三三五 號	姓名索引		部	隊	等級・身分	氏名
	60 西 51 警 上 中		[REDACTED]			
	出身府縣		所管復員局	方面	入籍番號・軍屬に派遣元	
[REDACTED]		二・横・吳・佐・田				
申 20.6.18 博愛丸で戦死						
離間地方復員業務處理部	中	家族	住所	籍	氏名	
	告	復員者	住所	部隊等級	氏名	
	者	[REDACTED]	51 警 上 中	[REDACTED]		
調査官	世					
	話					
	調					
見	復					
	人					

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）離復人に送付する
3. 乙號……離復人にて甲號により三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通
 同 世話課へ一通（復員局經由） } 送付する
4. ※欄は離復人で記入する

112-10

②

現況不明者究明調書

(調査期日 場所 6月29日)

※	名簿索引	部	隊	等級・身分	氏	名
三	60頁	5/	警	上	曹	[REDACTED]
六	出身府縣	所管復員局	力	面	入籍管段・軍団	は原道元
號	[REDACTED]	二復・横・吳・佐	①	千	島	
20.6.18 博愛丸で戦死						
申人 世 第 五 號						
家族		住	所	備	氏	名
復員者		住	所	部隊等級	氏	名
[REDACTED]		[REDACTED]	[REDACTED]	上機曹	[REDACTED]	[REDACTED]
調査官		世 話 課				
所 見		報告事項の通り整理可とする				

舞鶴地方復員残務處理部

※ 七月九日

1. 本調査は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……総べて調査官にて記入し（鉛筆書にて可）舞復人に送付する
3. 乙號……舞復人にて甲號により三通調製
 調査世話課へ一通
 所管復員局へ一通
 同 世話課へ一通（復員局經由） } 送付する
4. 添欄は舞復人で記入する

113

元海軍軍人未復員者調査票

省	又派 は遣 船元 名題	身 分	氏 名	生 年 月 日	(本 現 籍 住 所 地)
連絡番号	留守担当者	職 柄	氏 名	現 住 所	
		長男		縣 市 郡 村 字	

家族の承知されている情況

本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	差出日附 () 年 () 月 () 日 部隊符號 () 受領年月日 () 年 () 月 () 日 検閲者印 ()	内地勤務の部隊名及場所	採用又は徴用年月日及部隊名 (船員は船名及船主)	志願、徴用、現地採用等の別	職名
その他本人に就いて發考になることを書いて下さい	其の他本人に就いて發考になることを書いて下さい	一、部隊長から何か通知がありましたか 二、艦長から何か通知がありましたか 三、其の他のところから何か通知がありましたか 以上より通知した人、氏名を導いて下さい	家族養受領の情況と徴用している選理部を書いて下さい	内所發地出發年月日、場下より所發地へ行く先がわかってますなら書いて下さい	工員 等手司、政官、囑託、書記、技師の別を記入して下さい

帰還者からの情報（自分達の方では本欄に未だ確認者個人に對して記入して下さない）

未處理者個人に對する情報						歸還者の屬していた部隊の情報	
情報提供者	部隊	身分	氏名	この欄には所屬部隊の行動、戦斗状況（艦船事故ならその状況）を詳しく書いて下さい （特に場所、年月日を誤らさない様にして下さい）			
同右現住所							
入たからか本人とは何處で何時に何れの時分まで記し本誌にて公開せよ	昭和20年6月18日南都支隊中隊長として現地に赴いたものである						
徹夜者でしたらその状況を本欄に記入して下さい	死因 戦死 死亡年月日 昭和20年6月19日午後 死亡の場所 高峯村牛座 状況 米軍空襲直後銃弾に被弾し重傷を負ったと推定される						
行方不明ならばその状況を記入して下さい	原 因 / 年 月 日 / 場 所 /						
他に知る本人の消息をよめる方が住所氏名を記入して下さい							
備考	長岡力						

甲

現況不明者究明調書 (調査期日 7月27日)

姓	名	索引	部	隊	等級・身分	氏	名
55	日	五十一	華	三	長		
出身府縣	所管機関局	方面	大府管区・軍管区	支隊			
	二・三・四・五	千	島				
申告事項	主長は組合員 / 日甲。十番隊九ノ東隊大連に 同大連のあが片岡湾口航行中敵艦の雷撃に依り 沈没した所載記 組合は高航3。護衛艦1 (予航不明) の6月19日 名乗。連合を以て号し6月27日大連の。大連警備 隊に7月20日頃迄居る間、大連警備隊の70及の 艦重架と考へた (7月10日?) 此れ遺言を以て宣稱 いたることを示す。						
申告者	家族	住所	国籍	氏名			
申告者	住	所	部隊等級	氏名			
			5/1	主長			
調査官	世話課	成。口述に同意するものと見らる。 大連の約30名に於て戦後初の本姓を調査し本姓 判明した36名と考へた (年復調査 5/ 警備隊情報に依り)					
見	所	若しこの本姓調査に依り判明したものと見らる。					

舞鶴地方機関員事務處理部

調査官 見

1. 本調書は甲號一、乙號三を調製する
2. 甲號……總べて調査官にて記入し (鉛筆書にて可) 舞鶴人に送付する
3. 乙號……舞鶴人にて甲號により三篇調製
調査世話課へ一篇
所管機関局へ一篇
調査世話課へ一篇 (機関局経由) } 送付する
4. 本調書は舞鶴人で記入する

44-11

(調査期日 7月7日)

舞鶴地方復員殘務處理部

- 16340

1928

35344

張石著死傷戰隊信通十三第
~~明和子~~

者(見真)者(認現)

隊少部五軍海

18

([REDACTED])

一、軍用 金 收 時 米 庫 = 押收

也 已 向 無

北 之 者 陳 部 = 押交 是 交 滿

之 記 寫 信 部

二、總 國 在 此 二 事 實 現

在 作 家 團 難 在 无 北 之 者 以 外

一、金 部 10-10-17 以 米 庫 創 外

二、新 部 10-11-10 以 米 庫 創 外

復 與 海 隊 定

三、本 知 部 職 之 部 北 確

認 者 1-2-11 在 好 一 段 完 无 十

四、北 之 事 件 諸 部 感 其 金 部 交

是 市 交

五、大 債 部 以 部 職 大 金 部 燒 部

大 債 部 以 部 職 大 金 部 燒 部

同	38303	骨	(209.36)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38302	同	(209.20)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38301	上水	(209.14)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38300	機受	(209.5)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38299	水長	(209.5)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38298	並受	(209.4)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38297	同	(209.5)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38298	同	(209.1)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38294	水長	(206.30)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38293	機受	(206.28)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38295	木長	(206.20)	[Redacted]	[Redacted]	(150)
同	38296	同	(206.1)	[Redacted]	[Redacted]	(150)

石州部

38315	水長	(20-8-20)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38316	水長	(20-8-23)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38317	水長	(20-8-25)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38318	水長	(20-8-26)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38319	水長	(20-8-16)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38320	水長	(20-8-19)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38321	水長	(20-8-25)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38322	水長	(20-8-30)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38323	水長	(20-9-4)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38324	水長	(20-9-8)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38325	水長	(20-9-8)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38326	水長	(20-9-11)	[Redacted]	掛	[Redacted]
38327	水長	(20-9-13)	[Redacted]	掛	[Redacted]

九月

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

38336 38335

38337

38334

38333

38332

38331

38330

38329

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

(20-818) (20-922)

(20-922) (20-922)

(20-922) (20-922)

(20-921) (20-921)

(20-918) (20-918)

(20-918) (20-918)

(20-919) (20-919)

(20-916) (20-916)

(20-916) (20-916)

(20-916) (20-916)

(20-916) (20-916)

(20-916) (20-916)

(20-919) (20-919)

(20-910) (20-910)

(20-910) (20-910)

死歿者調書

2-7-18
張

[illegible]

昭和二十年 七月十八日

31566

本籍地	現任所	所屬部隊	官等級	海軍	軍工作業
		第二面置隊第一〇二連附隊	官等級	海軍	軍工作業
			入籍番別		

備考

(一) 水調書ハ部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人事部長宛通報シテ非ズト認ルモノニ付記載ス
 (二) 吳鎮在籍特務士官准士官下士官兵ニ付記載ス
 (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
 (四) 知得シタル範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記載ス
 (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス
 (六) 送付先

吳市
吳地方復員局人事部長宛

274-10

3659

(1789)
36559

死歿者親書

本營	所屬部隊	入團年月	官等級	姓名	役種	兵種	勤務概要	病歿(受傷)部位	病歿(受傷)原因	戰死時狀況	死歿年月日
	皮尾龍連基地付イ班セ班セ班	昭和十九年八月十五日	上等兵	氏名	役種	兵種	百十一重隊基地隊	熱心	高熱、傷、食糧不足、身重、又、病、九月十二日午後四時五分	戰死時、狀況	昭和二十年九月十二日午後四時五分

右中書又